加速しよう、未来を。
VERISERVE

2026 年 11 月 24 日

関係者各位

株式会社ベリサーブ

「品質保証エンジニア 500 名実態調査」

今後の必要スキルは、上流工程から品質を作り込む「要件・設計力」
「セキュリティ」の実務に関わる人も 6 割以上で、知識習得の必要性高い

ソフトウェアの品質向上支援サービスを提供する株式会社ベリサーブ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鴫原 忠大、以下 ベリサーブ）が運営するソフトウェア品質に関するオウンドメディア「Hello, Quality World!（以下 HQW!）」は、品質保証（Quality Assurance、以下 QA）・ソフトウェアテスト業務に携わる 500 名を対象に、業務・キャリア、セキュリティへの関与、生成 AI の活用などに関する実態調査を実施しました。

■調査実施の背景

ソフトウェアやシステムの高度化、生成 AI の活用拡大、サイバーリスクの増大により、QA エンジニアに求められる役割は、テスト活動にとどまらず、ソフトウェアやシステムの要件定義・基本設計といった上流工程から、リリース後の品質管理、セキュリティを含む幅広い領域へと広がっています。こうした変化を受け、HQW!は QA エンジニアの業務やキャリア、セキュリティへの関与、生成 AI の利用状況を明らかにし、今後の QA に求められる役割とスキルを示すことで、QA エンジニアの育成に寄与することを目的に、本調査を実施しました。

■調査結果概要

・今後 3 年間で必要となるスキルは「要件・設計力」が 35.0%で最多。「生成 AI 活用力」30.8%、「テスト自動化・プログラミング」29.0%が続く

・QA 業務で生成 AI を日常的または時々活用する人は 58.6%。生成 AI の利用・試行者 359 名の 81.0%が業務の効率化を実感

・セキュリティ実務に主担当または他部門との連携で関わる人は 63.2%

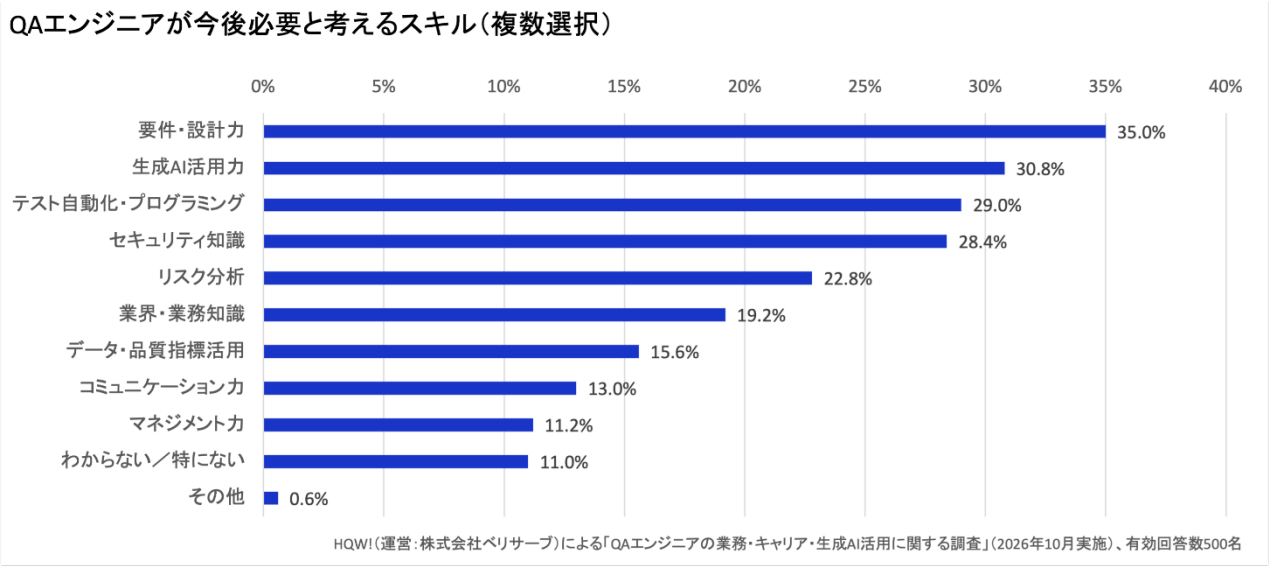
・セキュリティに関する具体的な活動では、「セキュリティ要件レビュー」が 41.8%で最多。「脅威分析」と「脆弱性診断」がいずれも 34.6%、「インシデント対応訓練」が 26.8%と続く

・セキュリティ向上における最大の課題は「専門人材不足」で 26.4%

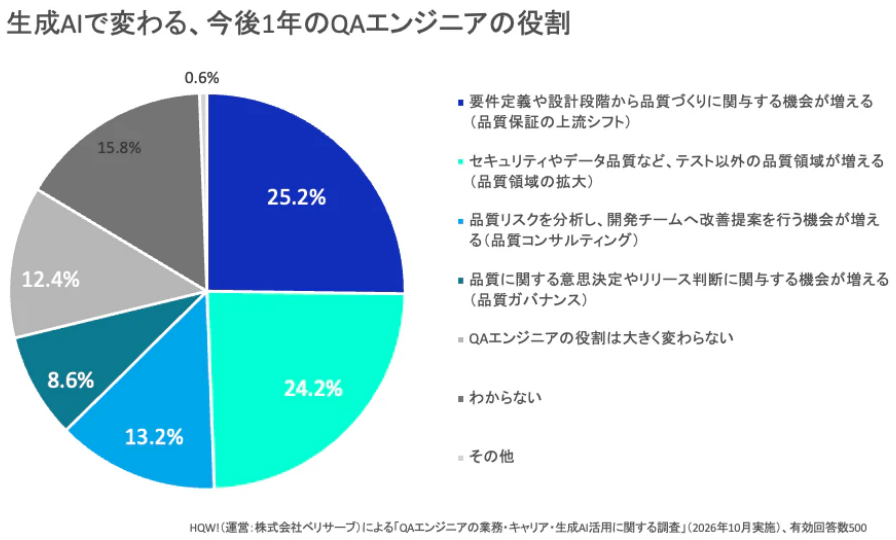
■主な調査結果（抜粋）

1. QA エンジニアが今後必要と考えるスキル

QA エンジニアに今後 3 年間で必要になるスキルを尋ねたところ、「要件・設計力」が 35.0%で最多となり、要件や設計などの上流工程から品質に関わるためのスキルが重視されていることが伺えます。次いで「生成 AI 活用力」30.8%、「テスト自動化・プログラミング」29.0%となりました。「セキュリティ知識」を挙げた人も 28.4%に上りました（複数選択）。



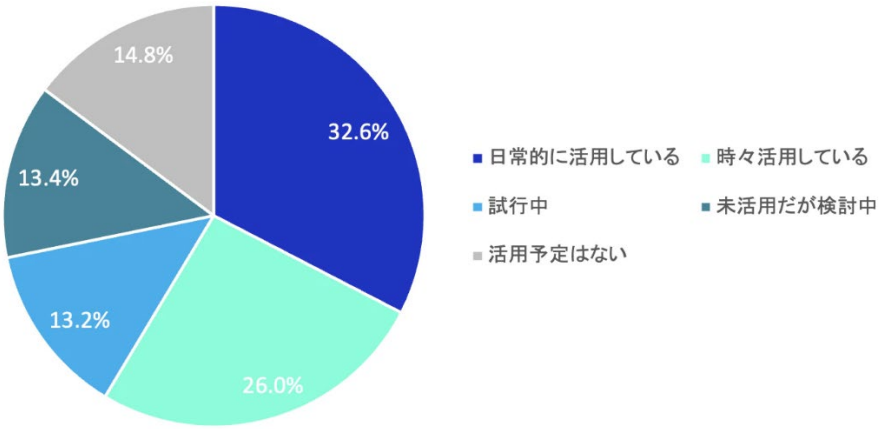
生成 AI の活用による今後 1 年間の QA エンジニアの役割の変化については、「品質保証の上流シフト」が 25.2%で最多となり、「品質領域の拡大」が 24.2%、「品質コンサルティング」が 13.2%、「品質ガバナンス」が 8.6%と続きました。



2. QA 業務での生成 AI 活用

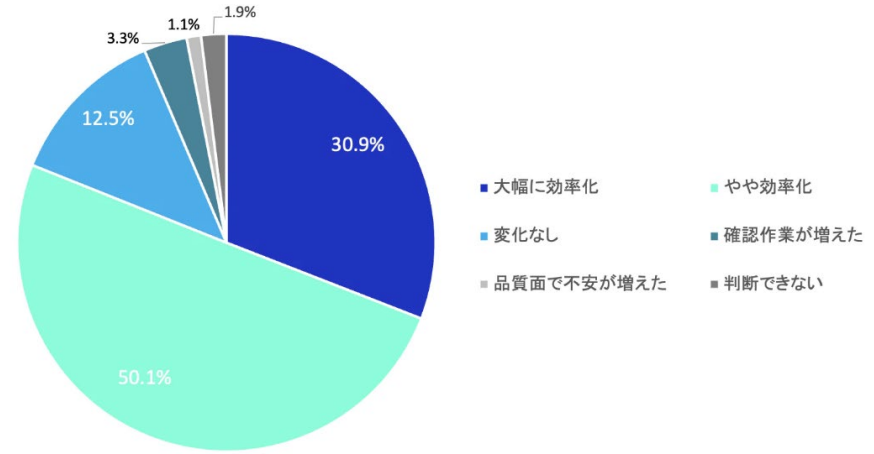
QA 業務で生成 AI を「日常的に活用している」と回答した人は 32.6%、「時々活用している」は 26.0%で、合わせて 58.6%となりました。また、生成 AI の利用・試行者 359 名のうち、「大幅に効率化した」「やや効率化した」と回答した人は合わせて 291 名で、81.0%が業務の効率化を実感していました。

QAエンジニアが、業務で生成AIをどの程度活用しているか



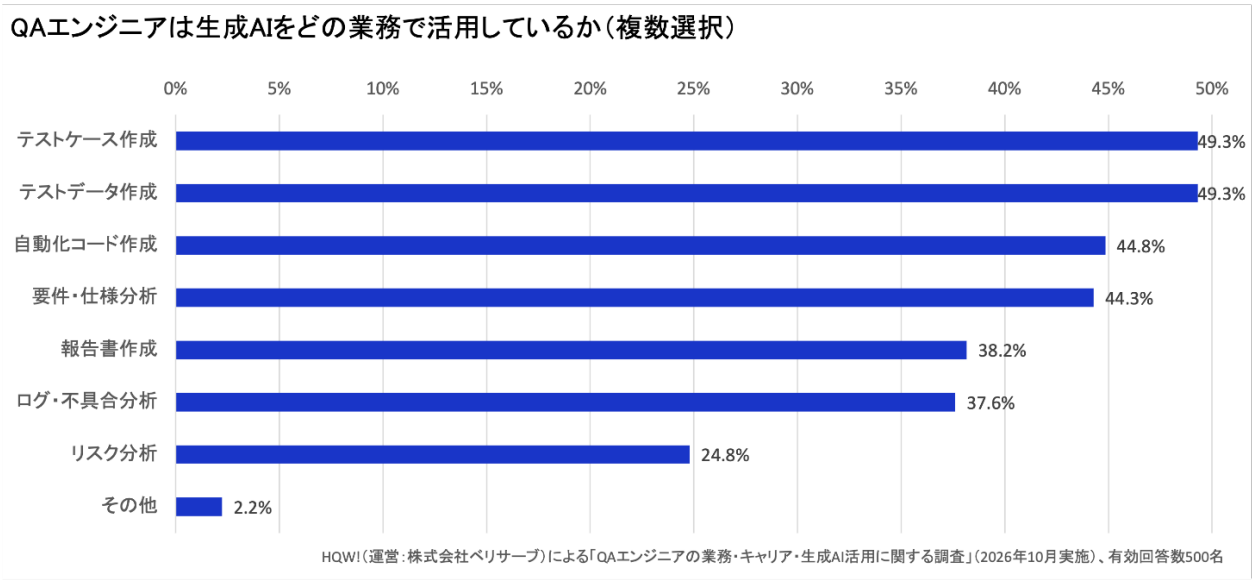
HQW!（運営：株式会社ベリサーブ）による「QAエンジニアの業務・キャリア・生成AI活用に関する調査」（2026年10月実施）、有効回答数500名

生成AIでQA業務はどう変わったか



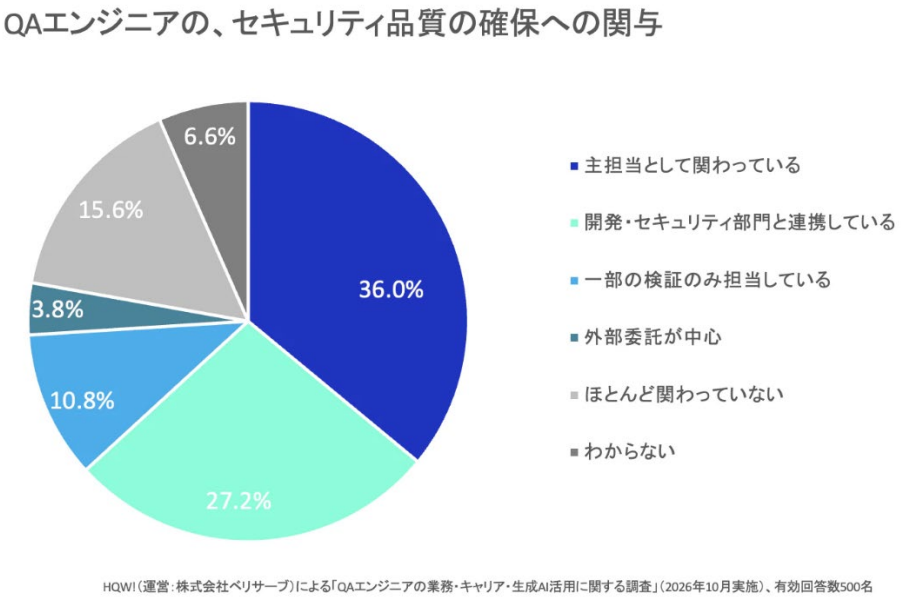
HQW!（運営：株式会社ベリサーブ）による「QAエンジニアの業務・キャリア・生成AI活用に関する調査」（2026年10月実施）、有効回答数359名

生成 AI の利用者および試行者 359 名に用途を尋ねたところ、「テストケース作成」と「テストデータ作成」がいずれも 49.3%で最多となりました。次いで、「自動化コード作成」が 44.8%、「要件・仕様分析」が 44.3%、「報告書作成」が 38.2%、「ログ・不具合分析」が 37.6%となりました（複数選択）。



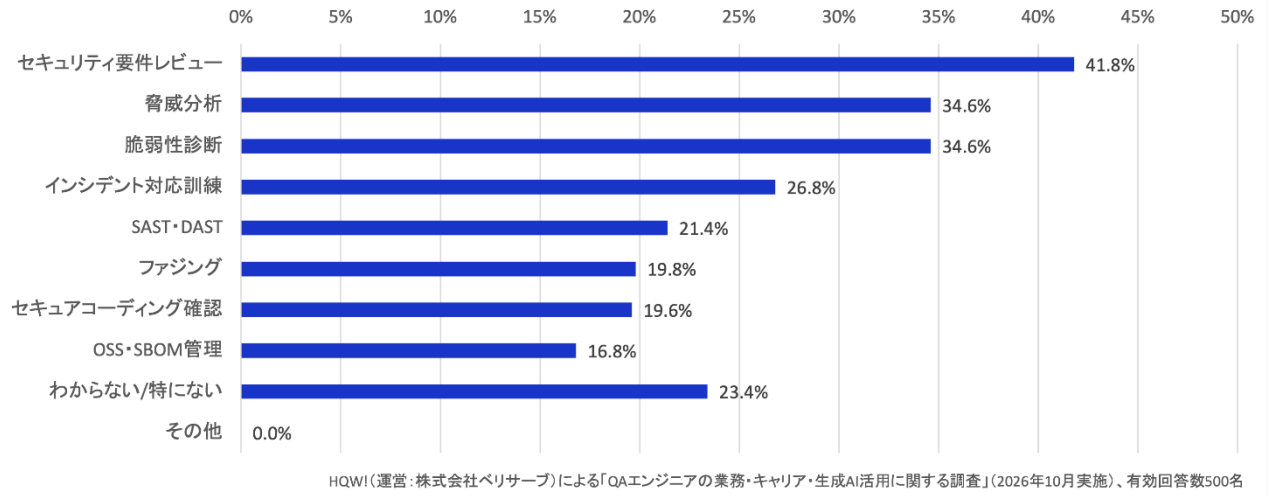
3. QA エンジニアのセキュリティ品質確保への関与

QA エンジニアのセキュリティ品質確保への関与状況を尋ねたところ、「主担当として関わっている」が 36.0%、「開発・セキュリティ部門と連携している」が 27.2%で、合わせて 63.2%となりました。



具体的な活動では、「セキュリティ要件レビュー」が 41.8%で最多となりました。次いで、「脅威分析」と「脆弱性診断」がいずれも 34.6%、「インシデント対応訓練」が 26.8%と続きました（複数選択）。

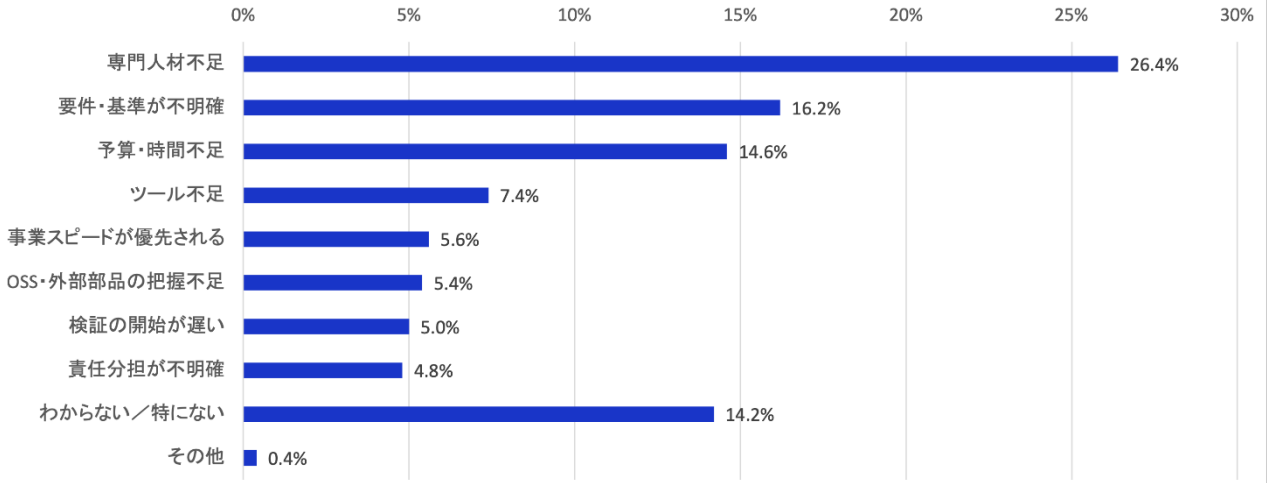
実施しているセキュリティ関連の活動（複数選択）



HQW!（運営：株式会社ベリサーブ）による「QAエンジニアの業務・キャリア・生成AI活用に関する調査」（2026年10月実施）、有効回答数500名

セキュリティ向上における最大の課題を尋ねたところ、「専門人材不足」が 26.4%で最多となりました。次いで、「要件・基準が不明確」が 16.2%、「予算・時間不足」が 14.6%と続きました。

セキュリティ向上における最大の課題



HQW!（運営：株式会社ベリサーブ）による「QAエンジニアの業務・キャリア・生成AI活用に関する調査」（2026年10月実施）、有効回答数500名

■まとめ

今回の調査結果から、QA エンジニアが今後必要とするスキルとして「要件・設計力」が最も多く挙げられました。また、セキュリティ実務に関わる QA エンジニアが 6 割を超え、今後必要なスキルとして「セキュリティ知識」を挙げた人は 28.4%となりました。さらに、生成 AI が QA 業務のさまざまな場面で活用されている実態も明らかになりました。

こうした結果から、QA エンジニアはソフトウェアやシステムの要件定義・基本設計といった上流工程から、セキュリティや生成 AI の活用など、幅広い領域に関わっていることが分かりました。

■調査概要

調査名：QA エンジニアの業務・キャリア・生成 AI 活用に関する調査
調査主体：HQW!（運営：株式会社ベリサーブ）
調査ツール：Fastask
調査方法：インターネットによるアンケート調査
調査期間：2026 年 10 月 10 日～10 月 31 日
調査対象者：ソフトウェアやシステムの QA・テストを主な業務、または一部業務として担当している方 500 名

有効回答数：500 名（主業務 442 名、一部業務 58 名）
回答形式：単一回答および複数回答

※本調査の数値は、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合があります。
※本調査の結果を引用する際は、出典として「HQW!（運営：株式会社ベリサーブ）『QA エンジニアの業務・キャリア・生成 AI 活用に関する調査』」および本調査結果を掲載した記事の URL を明記してください。

■詳細な調査結果
【HQW!調査】QA エンジニア 500 名の実態調査。仕事の魅力は？今後必要なスキルとは？
https://www.veriserve.co.jp/helloqualityworld/media/20261110001/

【HQW!調査】QA エンジニア 500 名の生成 AI 活用実態とは？
https://www.veriserve.co.jp/helloqualityworld/media/20261117001/

【HQW!調査】QA エンジニア 500 名のセキュリティへの関与実態とは？
https://www.veriserve.co.jp/helloqualityworld/media/20261124001/

■「Hello, Quality World!（HQW!）」について
「HQW!」は、株式会社ベリサーブが運営するソフトウェア品質に関するオウンドメディアです。品質に携わる人へのインタビューや、技術・キャリアに関する記事、独自調査などを通じて、より良い製品・サービスづくりにつながる情報を発信しています。
URL：https://www.veriserve.co.jp/helloqualityworld/

■株式会社ベリサーブについて
設立：2001 年 7 月 24 日
代表取締役社長：鴫原 忠大
本社：東京都千代田区神田三崎町 3-1-16 神保町北東急ビル
事業内容：ソフトウェア事業
1. ソフトウェアテスト・品質関連事業
2. サイバーセキュリティ関連事業
3. コンサルティング関連事業
4. ソフトウェア開発関連事業
5. その他事業

URL：https://www.veriserve.co.jp/

【リリースに関するお問い合わせ先】
広報部 広報課　佐藤、太田
TEL：050-3640-8194
MAIL：press@veriserve.co.jp

※掲載されている製品名、会社名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。